

# 地域を元気に！夢プロニュース

発行：本吉プロジェクト委員会 問い合わせ先：本吉夢プロジェクト委員会事務局 tel:0226-48-5505

## この一年間で実施した事業について

4月19日	第5回役員会（総会について）
5月9日	平成29年度総会
6月18日	第1回委員会（現地視察：登米沢海岸防潮堤、交流・懇親会）
7月1日	「本吉夢プロジェクト」第2号発行
7月21日	第1回役員会
8月3日	第1回三役会議
8月11日	委員研修（森森7月2017）
8月18日	三陸沿岸道のインターチェンジ（IC）名称に係る意見聴取会（市主催：佐藤委員長出席）
8月23日	第2回役員会
9月24日	視察研修（大崎市田尻地区公民館他）
10月17日	第3回役員会
11月5日	気仙沼市本吉産業まつり協力
11月12日	～まちを元気に～本吉グラウンド・ゴルフ大会開催
11月28日	第2回三役会議
12月15日	「本吉夢プロジェクト」第3号発行
12月25日	第4回役員会
12月26日	復興祈念公園施設検討委員会（市主催：佐藤委員長出席）
1月30日	第2回委員会（ワークショップ）
2月16日	第3回委員会（新市基本計画に係る勉強会、29年度事業の検証）
2月26日	第5回役員会
2月26日	第4回委員会（新市基本計画等に係る懇談会テーマについて）
3月1日	「本吉夢プロジェクト」特集号発行（委員の募集について）
3月13日	第5回委員会（新市基本計画等に係る懇談会）



夢プロの「夢」は  
地域を元気にすること



本吉夢プロジェクト委員会  
委員長 佐藤和文



住民主体となって一昨年11月に発足した「本吉夢プロジェクト委員会」活動の基本姿勢は「地域を元気に、夢をカタチに」することです。活動元年となった今年度、委員会に地域活性化支援員という大きな助っ人が加わることとなり、委員会の活動が一段と飛躍しました。

6月には震災の復旧工事により最初に完成した登米沢海岸の防潮堤を視察し、今後の本町の変わり行く海岸線の風景を目の当たりにし、委員それぞれが、まちづくりに対しての想いを強く感じた視察となりました。交流事業の中では、9月に本吉町のパークゴルフ愛好会の協力を得て、大崎市の田尻地区公民館を訪問し、「パークゴルフによるまちづくり」を研修し、パークゴルフの体験も行いました。また、11月には研修の成果として、山田大名広場において多くの市民の参加を得て、グラウンド・ゴルフ大会を開催することができました。本吉町地域協議会に変わる組織団体である当委員会の今年度最後の行事として、3月13日に新市基本計画の進捗に対して市長との懇談会も計画いたしました。

一つの夢の実現が、また次の計画に活かされ、地域の元気を生み出していけるように、今後も活動してまいります。住民皆様の「夢」をお寄せいただきますようお願い致します。

皆様の参加をお待ちしております。

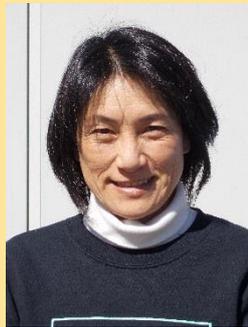


# ～ 夢プロこの一年を振り返って ～

## 「夢プロとは」



本吉夢プロジェクト委員会  
事務局次長 鈴木 優美



本吉町まちづくり協議会設立準備会から携わり、早くも一年と少々。会の名称や方向性など、まさに暗中模索の状態からスタートしました。それでも、本吉を元気にしたいという強い思いを委員皆さんで共有し、進んできたような気がします。世代を超えた委員の皆さんとの話し合いでは、本吉について初めて知ることが多く、自分自身勉強になりました。

大崎市田尻地区での視察研修には、勇気を出して？参加し、初のパークゴルフを体験しました。イメージとは裏腹に、楽しく、かつスポーツとして認識することができました。その後、「～まちを元気に～本吉グラウンド・ゴルフ大会」を開催したときには、参加者の皆さんとスポーツを通してコミュニケーションできたことがうれしかったです。

これからも本吉がどんどん笑顔あふれるまちになっていくよう、皆さんと協力していきたいと思います。



## 夢を語り合う ワークショップ



本吉夢プロジェクト委員会  
委員 大内 康弘



我が家（津谷）から望む田束山は、山頂を軸にして尾根の起伏がほぼ左右対称で、大鳥が翼を広げて迫ってくるようです。「平泉の世界遺産に直結する田束山の魅力を広く知って欲しい」との願いを長年方々に訴えてきましたが、私の力不足のため、反応が無いまま寂しい思いを募らせてきました。

「夢プロジェクト」の名前に惹かれて委員の公募に応じてから、この状況が変わりました。委員たちが意見を出し合い形あるものにまとめていくワークショップを重ねる中で、私と思いを共にする人に出会いました。その人は、「田束山の自然や景観を観光に活かすべきだ」と熱く語っていました。

夢プロには、結論ありきの議論を誘導するボスはいません。夢プロのワークショップは少数意見を切り捨てません。何より議論の雰囲気が出るのです。夢プロのワークショップは、田束山頂の学術調査という私の夢を語り合える唯一の場です。



## ワークショップを開催

1月30日（火）、本吉公民館において第2回委員会として、講師に地域社会デザイン・ラボ代表遠藤智栄氏をお招きし、ワークショップを開催しました。

今回は前回のワークショップで取り組んだ「本吉の魅力」と「本吉の心配事」という2つのテーマの中から、参加者の投票により特に希望が多かった「自然」、「少子高齢化・人口減少」、「仕事」の3つの項目をピックアップし、それぞれのグループに分かれて話し合いを行いました。

その後全体会を行い、それぞれ話し合ったことを各グループの代表者から報告してもらい、再度みんなで見え・アイデアを出し合いました。

次に再びグループに分かれ、今回話し合ったことを今後の委員会にどのように反映させるかということ話し合い、今後の夢プロの進め方、運営への提言などを、最後の全体会で各グループ代表者から発表してもらいました。

参加した各委員からは、多くのアイデアや意見が出されました。

## — 新市基本計画等に係る懇談会開催 —

3月13日(火)、本吉公民館において「新市基本計画等に係る懇談会」を開催しました。

当日は、市から菅原市長のほか主管課や本吉総合支所の管理職約20名が出席し、本吉夢プロジェクト委員会委員17名と懇談を行いました。

今回は、懇談テーマを(1)新市基本計画の推進について、(2)パークゴルフによるまちづくりについて、(3)震災被災跡地の利活用について、(4)学校の統廃合についての4点に絞って懇談に臨みました。

### (1)新市基本計画の推進について

大内康弘委員が①三陸道開通に伴う道の駅大谷海岸、(仮称)本吉パーキング物販施設及びモーランド本吉における観光客の受け入れ態勢について、②中島海岸観光交流広場計画について、③田東山の観光利用についての3点について質問、要望を行いました。

市からは、①については、道の駅大谷海岸は平成32年度末までにリニューアルオープン予定であり、検討委員会を設置し、運営方法などを検討していく。(仮称)本吉パーキング物販施設については、民間での運営を前提として整備検討を進めているが、課題も多くなお検討が必要な状況で、年度内を目途に方向付けしていきたい。モーランド本吉については、国の制度を利用し商品開発等を行うとともに遊具施設の整備を行う。②については、駐車場約70台、トイレ、シャワールーム及び更衣室などを設置した交流広場として、平成31年夏の開設を目標に整備を行う。③は田東山の文化的価値と、つつじの名所であることを広くPRしていくとの回答がありました。

### (2)パークゴルフによるまちづくりについて

佐藤委員長が、市民の健康づくり、コミュニケーションの場として、誰もが気軽に楽しめるパークゴルフ場の設置について要望を行いました。候補地としてモーランド本吉、ふれあいの森公園を提案しました。

市からは、以前にモーランドへの設置に係る基本構想の調査を実施したが、多額の費用がかかることから整備を断念した経緯があり、モーランドへの設置は難しい。階上地区で民間企業が設置する計画があり、支援を検討している。また、南気仙沼地区に整備する復興市民広場にも設置できるスペースがあり、整備を検討しているが財源が課

題であるとの回答がなされました。

この後、懇談の中で佐藤委員長からは、田尻地区公民館パークゴルフ場の視察結果を踏まえ、費用のかからない施設で、当委員会等が管理運営にかかわってもよいとの意向や、モーランド運営への波及効果などを示し、又、他の委員からはメガソーラー設置企業からの地元貢献としての協力を得ることなどの提案もあり、市当局からは今後設置へ前向きに検討していきたいとの回答を得ました。

### (3)震災被災跡地の利活用について

佐藤委員長が小泉町跡地の利活用について質問しました。

市からは、水質検査の結果、飲料水には不相当であるが、工業用水としては立地業種によって利用可能であり、本市の立地希望企業に紹介しているが、立地計画までには至っていない。今後も産業用地として利活用を検討するとの回答でした。

### (4)学校の統廃合について

三浦友幸副委員長が、①馬籠小、小泉中の跡地利用について、②大谷中の統廃合の進め方について質問しました。

市からは、①については市役所内の検討委員会で検討しているほか、関心のある企業を現地に案内してPR等も行っているが、活性化や全市的に利用度の高い活用には至っていない。今後は、民間事業者の事業提案を公募し、利活用につなげていく。②については、大谷中は計画の第3段階であり、第2段階の2校(水梨小、月立小)の方向性を示した後に取り組むとのことで、統合による期待される効果としては、生徒はより大きな集団の中で、社会性やコミュニケーション能力を高めていくことや、グループ等で様々な学習形態を取り入れることができるので、生徒は多様な意見に触れ、ものの見方、考え方を広げることができること、部活動の選択肢の拡大などが話されました。



～ 写真で見る夢プロこの一年 ～



9月24日 視察研修(田尻地区公民館)



6月18日 交流・懇親会(かぶとむし)



6月18日 現地視察(登米沢海岸防潮堤)



11月12日 グラウンドゴルフ大会(大名広場)



11月5日 本吉産業まつり協力(体育館)



9月24日 視察研修(一ノ蔵工場見学)



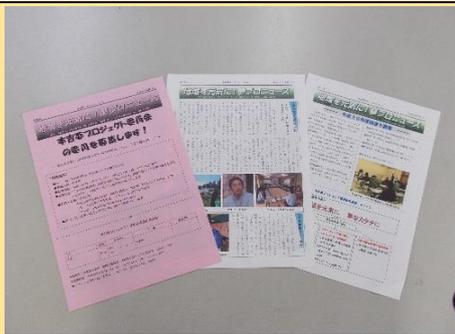
同 右



1月30日 ワークショップ(本吉公民館)



11月12日 グラウンドゴルフ大会(大名広場)



「本吉夢プロジェクトニュース」発行



2月26日 新市基本計画懇談会テーマ検討



2月16日 29年度事業の検証

夢プロ委員長活動報告

○12月6日

第2回復興祈念公園施設検討委員会に出席

第1回復興祈念公園施設検討委員会に出席

一、復興祈念公園アイディアコンペの概要について

二、アイディアコンペの審査方法について

○3月20日

第3回復興祈念公園施設検討委員会に出席

一、アイディアコンペ総合部門、モニメント部門の審査会

○3月25日

三陸沿岸道路本吉気仙沼道路(大谷海岸IC、気仙沼中央IC)開通式に出席

本吉夢プロジェクト委員会今後の予定

○4月下旬

平成30年度総会